

学校 教育 目標	「9年間で育てる子ども像と小中一貫して育てる力」(小中共通の学校教育目標) 自ら学び、友達や社会とかかわり合いながら、ともに新しい社会を創ろうとする子ども ○自ら学ぶ子ども【知】 主体的に考え、共に学び合う力 ○心豊かな子ども【徳】 自他ともに尊重し、たくましく生きる力 ○心身ともに健康な子ども【体】 自らの健康を保持増進しようとする力 ○社会に参画する子ども【公】 社会の一員として、他者と協働する力 ○変化する社会を生きる子ども【開】 広い視野をもち、未来に向けて挑戦する力				
	創立 76 周年	学校長 石川 博	副校長 田畑 彰紀	2 学期制	一般学級: 6 個別支援学級: 2
学校 概要	児童生徒数: 190 人 主な関係校: 西前小学校・・・本校は、西前小学校とともに小学校併設型(小中一貫型)中学校として教育活動を行う。				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	西中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
◎主体的に考え、判断し、実践する力 ◎よりよい人間関係を進んで形成し、 社会創りに参画する力	西中学校 西前小学校 ※併設型 (小中一貫型) 小中学校	自ら学び、友達や社会とかかわり合いながら、ともに新しい社会を創ろうとする子ども (詳細は小中共通の学校教育目標参照) ①中学校と連携、協働して特色ある小中一貫カリキュラムの「カリキュラム・マネジメント(編成・実施・評価・改善)」を進めると共に、すべての教科等の授業や活動において学校教育目標に基づく「主体的に考え、判断し、学び合う子どもの育成」という研究テーマを意識した指導を展開する。 ②小学生など、異学年の子どもとかかわり合う活動を大切に、異年齢でのよりよい人間関係を進んで築く力や学校生活創り、活動創りに主体的に参画する力を育成する。 ③上の取組を進めることを通して、小学校の教職員との教育観等の共有を進める。

中期 取組 目標	○義務教育9年間を見通し、急激に変化する時代に応じた「生きる力」を育む学校づくりを進めます。 ・西前小学校との連携をさらに進め、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくりに取り組みます。 ・人権教育を基盤とした、「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校を目指します。 ・地域や社会とのつながりを深め、多様な人たちとの協働によって、社会に積極的にかかわろうとする姿勢を育てます。 ・「個別最適な学び」を目指してきめ細かな指導・支援体制の整備を進め、学力の保障に努めます。 ・ICT化をさらに進め、コミュニケーションを通じた協働的な学び、学習履歴の活用や業務の効率化を進めます。
----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知	①学習活動を通じて得た知識や技能を、思考力・判断力・表現力をはたらかせながら問題を解決する力が身につくよう授業改善をしていく。 ②ICT端末の活用については、学習効果の側面を鑑みて、ICT端末を活用する場面を工夫し、意欲的に学び続ける力を育てていく。
担当 教科指導委員会	
徳 豊かな心	①道徳教材や学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲などの道徳性を養っていく。 ②生徒の自尊感情が育まれるように、活動の場(行事等)を工夫し、YPアセスメント等の活用で、観察や教育相談等できつくりあげていく。
担当 人権教育・道徳	
体 健やかな体・ 食育	①教科指導等を通し、一人ひとりが健康に必要な生活習慣を自ら課題を見つけ、取り組める態度を育てる。 ②学校だよりや保健だより、食の指導、委員会活動を通じて、食の意識改革を図り、生徒・保護者に食に関する情報を発信する。 ③ハマ弁を題材に生徒が自分が食べるハマ弁に興味や関心を持ち、栄養について学ぶことができる機会を作っていく。
担当 保健体育・保健安全指導部	
公 開 キャリア教育	①3年間を見通しをもった進路学習の計画を立て、生徒が主体的に進路について考え、自分に合った進路選択ができるように学習を進める。 ②各学年のキャリア学習を充実させ、キャリアパスポートを活用しながら、9年間を通じた自分づくり教育を推進する。
担当 教育課程委員会	
特別支援教育	①自閉症スペクトラムや発達障害について学び、配慮を要する生徒の特性について理解を深め生徒対応に生かせるような校内研修を実施する。 ②個別の教育支援計画・指導計画について作成方法や活用方法などを学ぶ職員研修を充実させる。 ③特別支援教室では、教科と連携し必要な生徒に必要な支援を提供する。学習支援だけでなく不登校支援としても活用していく。
担当 特別支援委員会	
児童生徒指導・ いじめへの対応	①本校いじめ防止対策方針を共有し、いじめに対する意識を高くし、アンケート等により個々の変化を見逃さない体制をつくる。 ②月1回以上のいじめ防止対策委員会を開催し、情報交換や認知された案件の経過を丁寧に観察し、未然防止・早期発見に努める。
担当 生徒指導部・いじめ防止委員会	
地域連携 学校運営協議会	①学校、家庭、地域の連携を密にし、行事等の情報発信を行うとともに、生徒が地域の一員としての意識をもち、自主的な活動が行えるよう推進する。 ②西前小学校と協力しながら、学校運営協議会の内容の充実を図り、地域・小学校・中学校のよりよい形で連携を行う。
担当 生徒指導専任・教務主任	
安全に関する教育と 安全管理	①緊急時の確かつ迅速な対応ができるよう、エビペンの使用を含めたアレルギー対応訓練および心肺蘇生法(AED使用含む救急対応)を専門家から学ぶ研修会を実施する。 ②総合防災訓練は初めて予告なしで行う。消防署や区役所職員からの助言と災害・安全に関する防災教育も取り入れる。 ③1年生に横浜市民防災センターの見学、体験学習を取り入れ、災害についてしっかり学び防災・安全の意識を高める機会とする。
担当 保健安全指導部	
人材育成・ 組織運営(働き方)	①Leafによる研修と教職員どうしの学び合いによる資質能力の向上を図る。 ②教職員間の情報共有と協働による組織的な業務の取組を進める。 ③データリテラシーの向上とICTを活用した会議や事務の一層の効率化を進める。
担当 校長・副校長・教務	
担当	